

# 風

椋山女学園  
大学報

Vol.50

March 2019



## 特集

# 開学70周年 椋山女学園大学を知る

05 教員研究紹介 / 06 クローズアップ椋大生 / 07 クラブ紹介  
 08 NEWS / 11 学生支援 (就職、図書館)  
 15 OG INTERVIEW / 17 INFORMATION

1930  
椋山女子専門学校

1949  
椋山女学園大学

1949  
家政学部

食物学科

被服学科

1962  
星が丘キャンパス完成

1977  
日進グラウンド整備

1968  
食物学科  
食物学専攻  
管理栄養士専攻

1969  
短期大学部

文学部  
国文専攻  
英文専攻

1972  
文学部  
国文学科  
英文学科



学園創設者 椋山正式・今子夫妻



椋山女学園大学 山添に誕生(1949年)

特集

# 開学70周年 椋山

## 節目に振り返る

### 大学概要

「女子により高い教育を」という創設者椋山正式の強い信念のもと、前身となる旧制椋山女子専門学校を大学に昇格させ、1949年4月、現在の山添キャンパスに椋山女学園大学は開学しました。わが国最初の家政学部のひとつ、また、中部・東海地区唯一の女子大学として開学して以来、時代とともに社会が求める教育を実現するため、学部の設置や改組などを繰り返し、2019年に開学70周年を迎えました。今回は、大学報「風」50号という節目に合わせ、改めて椋山女学園大学を振り返ります。

**教育目的** 高い知性と豊かな情操を兼ね備えた人間の育成

**大学憲章** 地域に根ざした伝統ある女子教育で  
豊かな知性と情操を育み  
凜として輝く人となる



学園章

中央の三角は「椋の樹」を、縦の線と外円は「山」という字を表しています。

コミュニケーションマーク

Yの文字に工夫を加えて「人」を表現し、豊かな人間に成長していくこと、人と人が支えあって成長していくことを表しています。

**Sugiyama**  
人間になろう

1987  
日進キャンパス完成

1991  
生活科学部

食品栄養学科

2000

食品栄養学科  
食品栄養学専攻  
管理栄養士専攻

2007

管理栄養学科

生活環境学科

2003

生活環境デザイン学科

生活社会科学科

2003

現代マネジメント学部

現代マネジメント学科

2000  
募集停止

2001  
閉学

2000  
文化情報学部

文化情報学科

2011

メディア情報学科

2003

国際コミュニケーション学部

表現文化学科

1999

日本語日本文学科

国際言語コミュニケーション学科

1991

英語英米文学科

1987

人間関係学部

人間関係学科

心理学専攻  
社会学専攻  
教育学専攻

2002

人間関係学科

臨床心理学科

2007

心理学科

2007

教育学部

子ども発達学科

2010

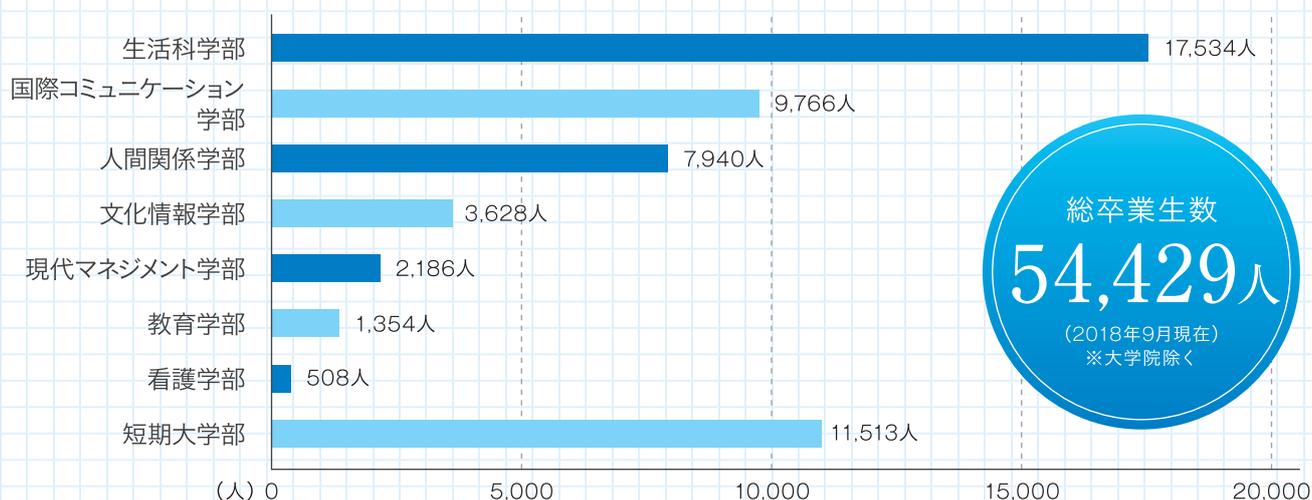
看護学部

看護学科

# 女学園大学を知る

## 私たちの大学

### 学部別の卒業生数



# 椋山女学園大学 Facts and Figures

椋山女学園大学は、現在、日本の女子大学として最多の7学部11学科を有する女子総合大学となり、開学以来、5.4万人を越える卒業生を送り出してきました。  
開学から70年。私たちが通う椋山女学園大学の「今」を最新のデータとともにご紹介します。

## 学科別学生数

### 生活科学部

管理栄養学科 501人  
生活環境デザイン学科 612人

### 国際コミュニケーション学部

国際言語コミュニケーション学科 519人  
表現文化学科 474人

### 人間関係学部

人間関係学科 483人  
心理学科 465人

### 文化情報学部

文化情報学科 575人  
メディア情報学科 441人

### 現代マネジメント学部

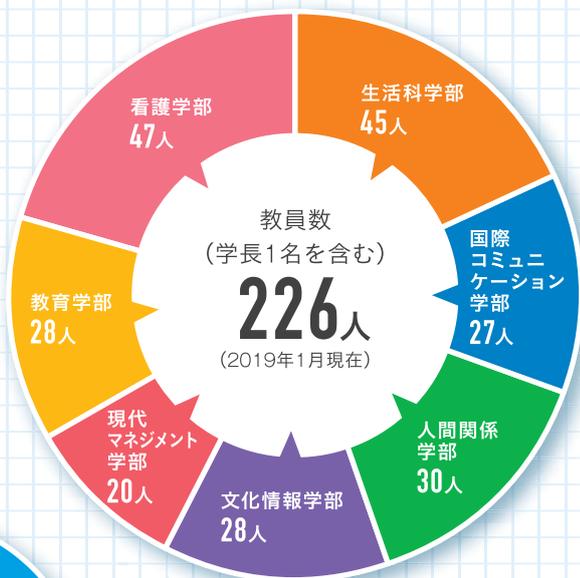
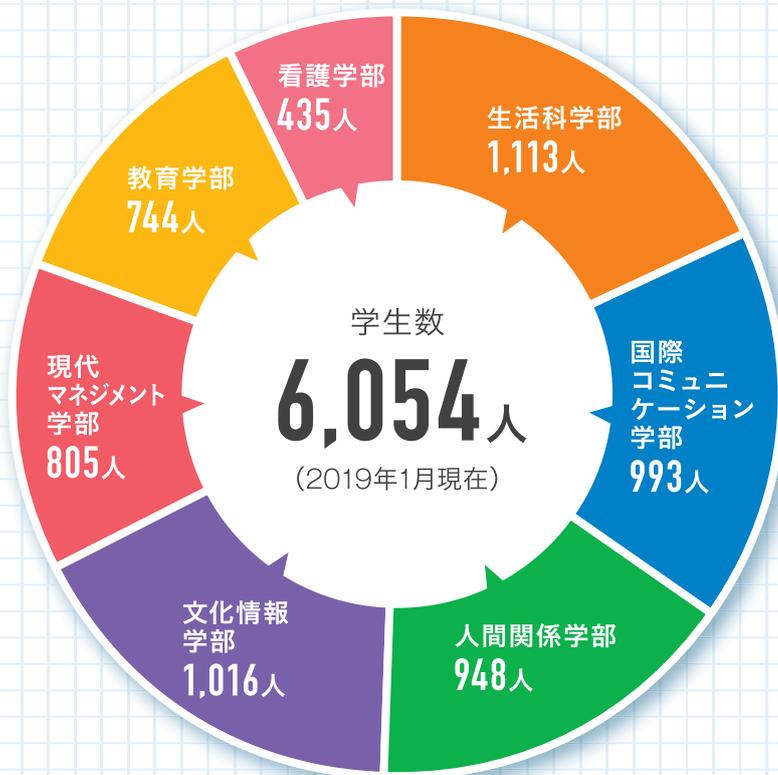
現代マネジメント学科 805人

### 教育学部

保育・初等教育専修 366人  
初等中等教育専修 378人

### 看護学部

看護学科 435人



## 学科別教員数

### 生活科学部

管理栄養学科 21人  
生活環境デザイン学科 24人

### 国際コミュニケーション学部

国際言語コミュニケーション学科 16人  
表現文化学科 11人

### 人間関係学部

人間関係学科 17人  
心理学科 13人

### 文化情報学部

文化情報学科 15人  
メディア情報学科 13人

### 現代マネジメント学部

現代マネジメント学科 20人

### 教育学部

子ども発達学科 28人

### 看護学部

看護学科 47人

(教員一人あたりの学生数は、26.7人です)



## 事務職員数

(嘱託、契約、派遣など含む)

# 数字で見る相山



## 就職率

2018年3月  
卒業生

98.6%

(就職内定者1,228名/就職希望者1,246名)

## 個人面談件数



5,524件

(2018年4月~2018年12月)

## インターンシップ参加者数



246人

(2018年度 夏・春合わせて)

## 図書館の蔵書数

(中央図書館・日進図書館合わせて)

45万冊以上



(2019年1月現在)

## パソコンの設置台数

(星が丘・日進キャンパス合わせて)

1,500台以上



(2019年1月現在)

## クラブ・同好会への加入者数



1,155人

(2018年12月現在)

## 留学・海外研修参加人数

(私費留学を除く)

776人



(2015年度から2018年度の累計)

## 資格取得講座の受講者数

学生の5人に  
1人が受講

1,186人



(2018年度キャリアアップ講座)

## メディアに取り上げられた回数

(学生・教員・卒業生など)

新聞・雑誌・  
テレビ番組など

150回以上



(2018年4月~2019年1月)

受験生が評価する大学(全国編)  
女子に人気の大学ベスト50

東海・北陸  
女子大 1位

出展: 大学通信大学探しランキングブック2018

東海エリアの高校3年生が  
イメージする上品な大学

男子・女子  
ともに 1位

出展: リクルート進学ブランド力調査2018

東海エリアの高校3年生が  
イメージするおしゃれな大学・  
キャンパスがきれいな大学

女子 1位

出展: リクルート進学ブランド力調査2018

## 教員研究紹介

国際言語コミュニケーション学科

### 池 沙弥 准教授

Profile

一般企業に就職後、留学への憧れを捨て切れずに退職。オーストラリアのメルボルン大学で修士号と博士号 (University of Melbourne PhD in Languages and Linguistics) を取得。その後、幼稚園児を対象とした英会話教室、小学校外国語教育の講師、中学校・高校英語教員、大学英語教員を経て、2014年4月から本学国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科に着任。2017年4月から現職。専門分野は、社会言語学、World Englishes。



### ことばの形はひとつではない

私が現在の研究分野に進んだきっかけは、メルボルン大学の修士課程に在籍していた時、第二言語習得 (SLA) と World Englishes (WE) の授業を履修したことでした。そこで出た課題が、SLAでは日本人英会話のエラー分析、WEでは会話の日本人らしい特徴分析でした。例えば、英語の発音一つにしても、アメリカ人とイギリス人のアクセントは違います。それなのに日本人のアクセントの違いは、違いに「ま」が付いた「間違い」と判断されることが多いです。多文化・多民族社会であるメルボルンで生活する中で、同じ会話を分析しながら正解が一つしかないと思いつけるより、複数の形を認める考えの方が良いと思いました。また、大事なのはいかに相手に合わせるかではなく、相手に自分を分かってもらおうかだと感じました。

### 学生へのメッセージ

人生において最大のスパイスは「興味」だと思います。身の回りを見渡して、「なんで？」と思えるものがあったら、また、人や自分の言動に対して「なんで？」と思えたら、それがあなたの興味の素です。その興味はいつか社会への貢献につながります。学生一人ひとりに、この社会で「なくてはならない一人の人間」になってもらいたいと思います。

### 最大の自己アイデンティティーの表現

現在の研究テーマは、World Englishes (世界諸英語) / English as a Lingua Franca (共通言語としての英語) です。日本人のあいづちの使い方を中心に、日本人にとっての英語インタラクション (会話の相互やりとり) の中でのあいづちの意味と機能、そしてそのあいづちの価値がシェアされていない異文化間コミュニケーションの中でどんな摩擦と交渉があるのかを研究しています。細かすぎてマニアックだとよく言われますが、自分でもそう思います。でも、個々のインタラクションを見れば見るほど、無意識の行動と思われることが実は意識と価値観に裏付けられた行動であることが分かってきます。私たちにとって言葉とそれを使ったコミュニケーションは最大の自己アイデンティティーの表現なので、「自分は何を考えてどんな行動をしているんだろう」、「それをどうやって人に伝えているんだろう」と考えることは、とても楽しいです。

## 「体験的な学び」を通して 観光を知る

文化情報学科に入学し、阿部純一郎准教授の「観光学」の授業を受け、観光という分野に興味を持ちました。

世界遺産を巡るフィールドワーク「小笠原諸島観光研修プログラム」では、遺産保護に関わる行政職員や観光協会、旅行会社への聞き取り調査の他、島の動植物と触れ合うトレッキングツアーや伝統芸能「南洋踊り」の講習などに参加しました。また、小笠原諸島が米国から日本に返還されて50年という節目であったことから、当時の状況を知る島民の方々からお話を聞く機会もあり、小笠原独自の自然・文化・歴史を体験的に学ぶことができました。

その他にも、株式会社読売旅行との産学連携プロジェクトでは、パッケージツアー（募集型企画旅行）の企画立案を行い、販売募集用のチラシ作成など旅行商品企画の一連の流れを体験し、商品を売るために必要なノウハウを学びました。

## さまざまな視点をもつこと、 自分を表現すること

旅行商品の企画立案に携わり、旅行会社としての立場をはじめ、ターゲットとなる顧客に合わせたさまざまな視点をもつことが必要だと学びました。また、小笠原諸島での1週間にわたる現地調査では、島民の方々との交流を通して、さまざまな考え方があることを知り、体験的な学びが、自分の可能性を広げることに気がきました。現地で得られた調査結果は、他大学合同の研究発表会で報告を行ったのですが、ゼミの仲間と討論し、自分の意見を述べること、聞き手にどう伝えるかを考えながらプレゼンテーションすることなど、自分を表現し、情報を発信するスキルを身に付けることができました。

将来は、学科での学びを生かし、観光に携わる仕事に就きたいと考えています。大好きな観光を通して、旅行の楽しさや感動、学びを伝えられる人になりたいです。

（取材：新聞報道部 成瀬 早希）



クローズアップ相大生

文化情報学科 3年

近藤 有真 さん



## Club Introduction | 合気道部

### 攻撃せずに相手を倒す武道

習熟度に合わせて技を繰り返し稽古し、心身の練成を図る合気道。合気道部は、毎週月・水・金曜日の週3回、星が丘キャンパス体育館1階の第3競技場で稽古に励んでいます。

攻撃技が存在せず、相手の力を利用することで相手を倒す合気道は、他人と優劣を競うことをしないため、試合や競技を行いません。代わりに、日頃の稽古の成果を披露する演武という形式があり、毎年、日本武道館で行われる「全日本合気道演舞大会」や「全国学生合気道演舞大会」に出場しています。また、段級位制が設けられており、師範による稽古の際に、昇級・昇段審査が行われます。

### 身に付く礼儀と強さ

部員は全員、大学に入学してから合気道を始めた初心者でしたが、技の向上を目指して稽古を重ね、最終的には初段取得を目標としています。礼儀を重んじ、上下関係はしっかりとしていますが、仲良く楽しく活動しています。2018年度のスローガンは、「外柔内剛(外見は穏やかで物腰柔らかでも、内心はしっかりしていて意志が強いこと)」。部長の筒井優有花さんは、「入部して身に付いた礼儀は就職活動にも役立つと思います。合気道は体力もつき、護身術としても有効です」とおすすめの理由を語ります。あなたも武道の魅力に触れてみませんか。

(取材:新聞報道部 野村 栞)



合気道部 Twitter  
@sugiyamaaiki

## NEWS

学内の主なニュースをピックアップしてご紹介します。

その他のニュースは  
こちらから

## 第57回 梶大祭を開催しました

**10**月20日(土)、21日(日)、星が丘キャンパスにおいて、第57回梶大祭を開催しました。2018年のテーマは、「SPACE」。一人ひとりが輝くことで、無限の可能性に満ち溢れたキラキラとした大学祭にしたいという想いが込められています。当日は晴天に恵まれ、両日ともに多くの来場者で賑わいました。

サークルやゼミが出店した模擬店、音楽やお笑いライブが行われた屋外ステージ企画をはじめ、自治体や企業とのコラボ企画など、来場者を楽しませるユニークな内容で会場は終日盛り上がりを見せました。

1日目には、卒業生が母校に集う「第14回 梶山ホームカミングデイ」を同時開催。卒業生による講演会と学部交流会(ティーパーティー)が行われ、学部学科、世代の枠を超えて親睦を深める機会となりました。また、2日目には恒例のミスコンテストが行われ、大学祭に花を添えました。



## 作家 万城目学さんをお招きし、活字文化公開講座を開催しました

**本**学と活字文化推進会議が主催する「活字文化公開講座」が、11月8日(木)に開催され、在学生および一般参加者およそ200名が参加しました。

7回目の開催となる今回は、作家の万城目学さんをお迎えし、「日常と非日常の境界」と題したトークセッションを行い、本学文化情報学部の福永智子教授がコーディネーターを務めました。

万城目さんは京都大学卒業後、会社員を経て2006年に「鴨川ホルモー」で作家デビュー。「鹿男あをによし」「プリンセス トヨトミ」など、映画やドラマ化された作品を多く生み出し、「万城目ワールド」と表現される作風で人気を博しています。独特の作品名が多いことでも知られており、それぞれのタイトルへの思いなどを語りました。

また、本学の学生3名とともに行ったトークセッションでは、学生からの質問に対して自身のエピソードを交えながら答えました。



## 千種保健センターと連携し、「こども向け食育教室」を開催

**8** 月4日(土)、管理栄養学科の学生と大学院生、千種保健センターが連携した「こども向け食育教室」が、星が丘テラス(名古屋市千種区)で開催されました。

この企画は、野菜摂取量の増加を目指すための一環として行われ、子どもの時から野菜に親しんでもらうことを目的としています。当日は、「めざせ!お野菜博士!」と題し、参加した親子連れ84名が野菜クイズや塗り絵に挑戦しました。学生たちは、子どもたちが野菜を身近に感じられるよう実物を用意し、実際に手で触れながら名前を答えてもらうなど、楽しみながら学べる工夫を凝らしました。その他、千種保健センターの管理栄養士が参加し、家庭向けの栄養アドバイスの提供や食の相談を行いました。

本学では、管理栄養学科の学生が、「野菜摂取量の増加」と「朝食摂取の改善」を目的に、さまざまなレシピの提案に取り組むことで、今後も名古屋市食育推進計画に協力していく予定です。



## 地域との連携を!「栢大生と本で遊ぼう」を開催

**名** 古本市鶴舞中央図書館と星が丘テラスを運営する東山遊園株式会社との地域連携イベント「栢大生と本であそぼう!」が、11月10日(土)に星が丘テラスで開催され、文化情報学科 福永智子教授の2年生のゼミ生20名が活動に取り組みました。

穏やかな秋晴れのもと、星が丘テラスのウッドデッキ周辺では「本で旅する」と題した本の展示をはじめ、「まつぼっくりのクリスマスツリー」、「おりがみのしおり」と題した工作体験が、また、イベント広場では「おはなし会」が行われ、約200名が参加しました。学生たちは名古屋市図書館の司書のアドバイスを受けながら、工作の下準備や展示本の選択、絵本と紙芝居を読む練習やチラシの制作などを重ね、当日に臨みました。参加した学生は、「子どもが展示の絵本を読んでくれて、選書の努力が報われた」、「憧れの司書の仕事を間近で見ることができ、貴重な経験だった」と感想を語りました。



## 名古屋市保育士ガイダンスを開催

**12** 月12日(水)、子ども発達学科保育・初等教育専修2・3年生を対象に、名古屋市子ども青少年局保育部および名古屋民間保育園連盟による名古屋市保育士ガイダンスが開催されました。

これは、名古屋市公立および民間保育園で実際に働いている方から現場の声を学生に伝え、現状や保育士の仕事の魅力を理解し、今後の進路選択に役立ててもらうことを目的としています。

ガイダンスでは、名古屋市職員の方から、名古屋市保育職の働きやすさや職員募集について、名古屋民間保育園連盟の方からは、民間保育園の職員募集や就職情報展(保育フェスタ)についてご説明いただきました。

続いて、名古屋の保育園で保育士として勤務している2名から、日々の体験を踏まえた保育士という職業の魅力についてお話いただきました。参加した学生は、貴重な先輩保育士の話に熱心に耳を傾けていました。



## ドラゴンズ愛を語る！砂口講師が中日ドラゴンズ座談会を開催

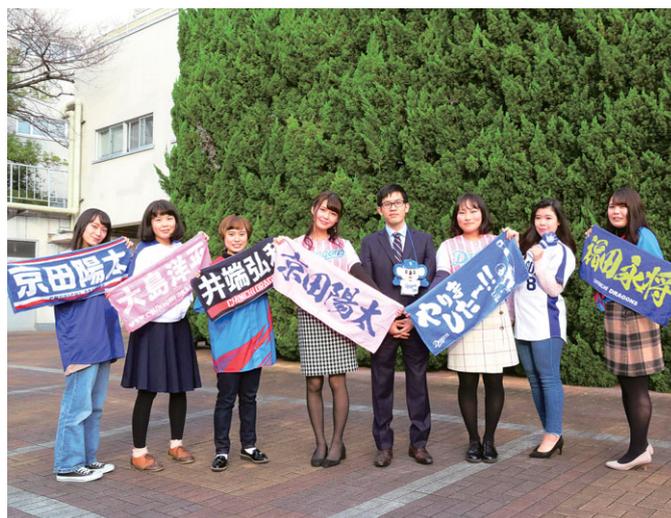
**現** 代マネジメント学部 砂口文兵講師の2、3年生のゼミでは、今年度から地元プロ野球球団「中日ドラゴンズ」との連携を視野に入れた活動を開始しています。

中日ドラゴンズは、女性ファン層の更なる獲得に向けた新たなアイデアを求めており、このことがきっかけで取り組みがスタート。ゼミ生たちは、今シーズンの試合をナゴヤドームへ観戦に行くことなどを通じて、理解を深めてきました。

その一環として、熱狂的な女性ファンの視点でのアイデアや意見を聞く目的で、11月26日(月)に現代マネジメント学部の中日ドラゴンズファンを集めた座談会を開催。友人に連れられ観戦したことがきっかけでファンになった学生や家族の影響で生まれた時からファンだったと語る学生、女性事務職員など多彩なメンバー7名が参加しました。

座談会では、ファンになったきっかけ、ナゴヤドーム(イベント・グッズ・フード)の長所や短所、新しい女性向けサービスなど、5つのテーマについて語り合いました。「他球場にあるこのサービスを取り入れて欲しい」「ファンとして求めるのは選手との触れ合いや選手の素の一面を知ることができる機会」など、それぞれが中日ドラゴンズへの愛を胸に、さまざまな提案や意見を語り、活発な意見交換となりました。

今後、砂口ゼミでは、座談会の意見を踏まえ、学生へのアンケートなどを行い、中日ドラゴンズの女性ファン獲得に向けた連携内容を模索していきます。



## 留学生と交流する「留学生カフェ」が始まりました

**国** 際交流センターが主催する「留学生カフェ」が、11月13日(火)に開催されました。

これは、留学生と日本人学生が、日本語で交流する場を設け、異文化理解を深めることを目的に初めて企画されたものです。当日は、9月から交換留学プログラムに参加している留学生12名と日本人学生22名が参加しました。

カフェでは、学生同士がお茶とお菓子をお供に交流を楽しみました。また、留学生がプレゼンテーションを行い、それぞれが在籍する韓国の順天郷大学校や培材大学校、オーストラリアのタスマニア大学、中国の上海師範大学、台湾の亜洲大学について紹介しました。

参加した日本人学生は、他国の大学の様子を知るなど新しい発見につながるとともに、留学生にとっては、日本語で会話をする絶好の機会となりました。

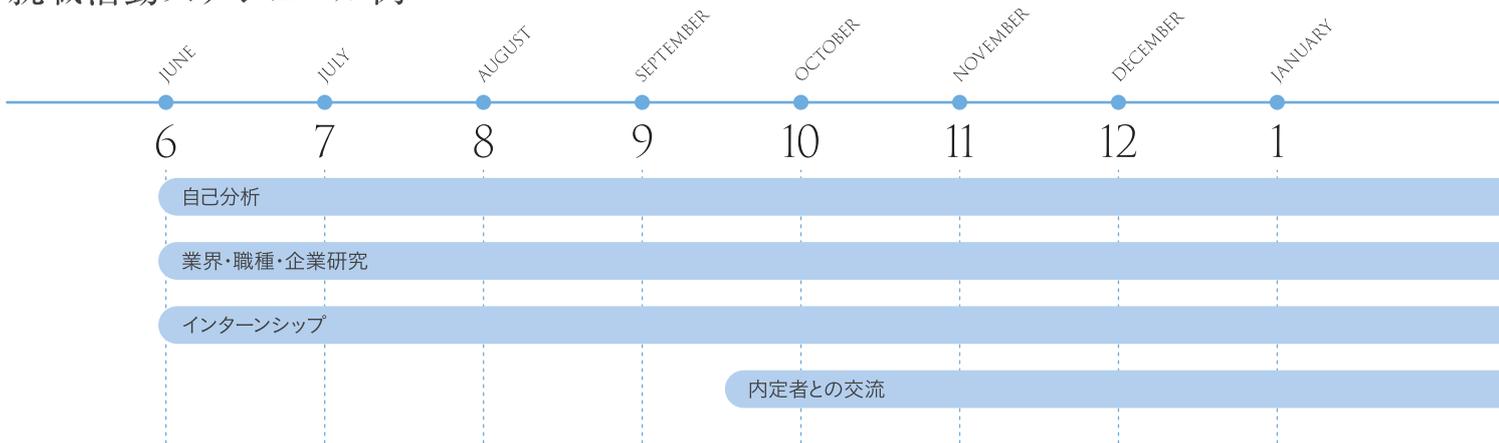


### 今後の留学生カフェ

日 時: 4月15日(月)、5月10日(金)、6月18日(火)、  
7月11日(木)、8月2日(金)  
16時40分～18時10分

場 所: 学生会館1階 食堂 (日時・場所は変更されることがあります)

## 就職活動スケジュール例



### 変わりゆく就職活動

新4年生(20年卒)の就職活動は、経団連の採用指針により3年次の3月に広報解禁、4年次の6月に面接解禁となっていますが、企業独自の1Dayインターンシップが3年次の夏休みから始まっているのが実情で、就職活動の早期化が懸念されます。

新3年生(21年卒)の就職活動は、ルールの見直しがあったものの、現行と同じ日程を維持。しかし、実際の採用活動は未確定な部分が多くあります。キャリア支援課では、今後も学生のみなさんの不安を解消できるよう情報を発信していきます。

### キャリア支援課があなたをサポート

就職活動に関する相談は、キャリア支援課へ。

キャリアカウンセラーの資格をもつ経験豊富なスタッフ陣が個人面談を行い、みなさんの就職活動をサポートします。

#### 星が丘キャンパス(人間交流会館1階)

平日 9:00-18:00

土曜 9:00-13:00

夏期(8・9月)・春期(2・3月) 9:00-17:00

日曜、祝日は閉館

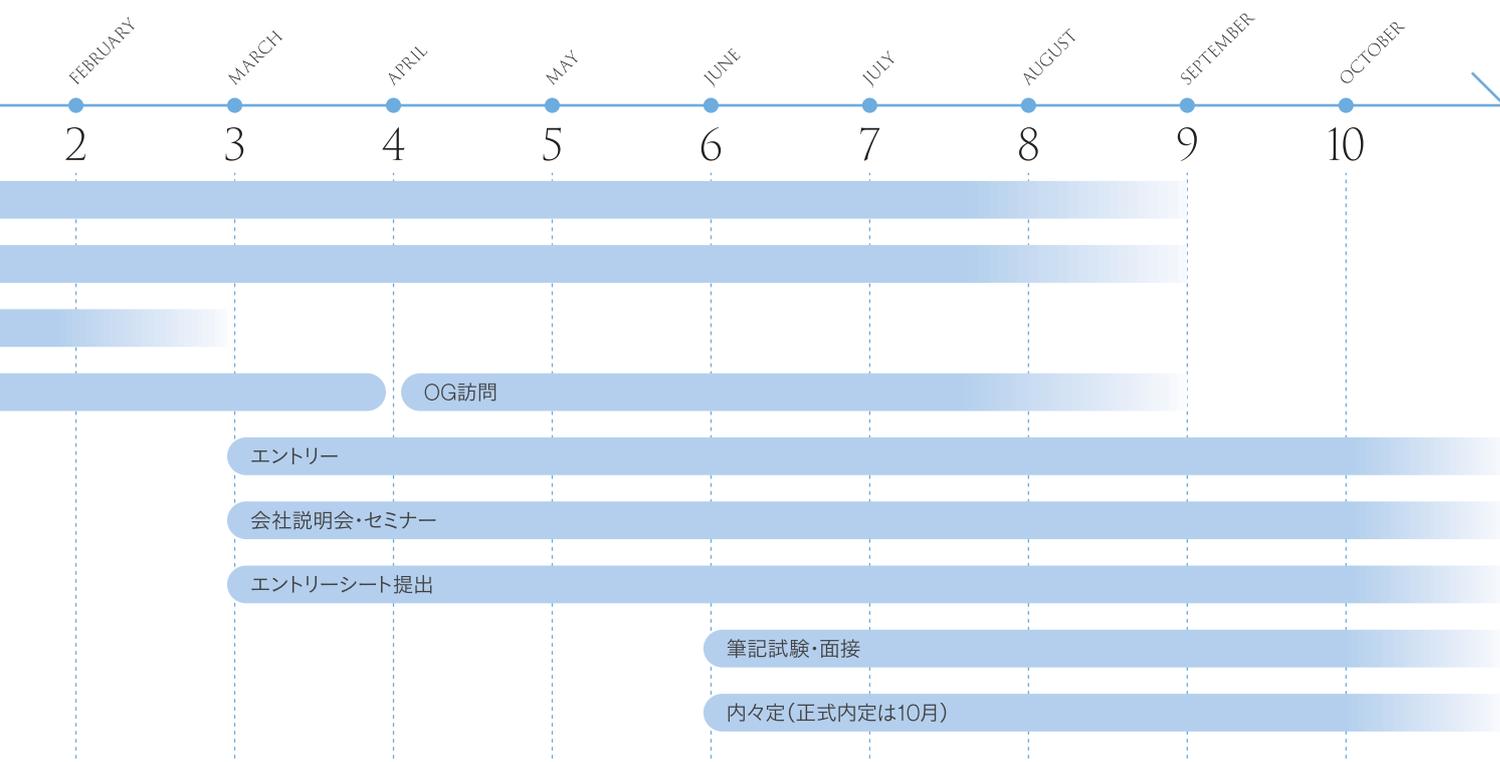
#### 日進キャンパス(大学会館日進分館)

平日 10:00-16:30

土・日曜・祝日、夏期・春期は閉館

就職に関する  
情報はここから





## 内定者の声

就職活動において、私が最も重視したのは「自己分析」です。自分自身を深く知ること、魅力的な自己PRや明確な志望動機を作成することができ、面接にも自信を持って挑むことができました。

キャリア支援課では、自己分析の方法についてアドバイスをいただいた他、履歴書やエントリーシートの添削、面接の練習などもしていただきました。また、就職ガイダンスやマナー講座、内定者報告会などにも積極的に参加し、情報収集に努めました。キャリア支援課に通うことで、互いの就職活動を支え合い、励まし合える「就活友達」もできました。彼女たちの存在は、活動中の大きな心の支えとなりました。

入社後は、周囲の状況を把握し、先回りした行動ができる人になりたいです。一般職だから、事務職だからと仕事に線を引かず、さまざまなことに挑戦し、信頼して仕事を任せただけのよう頑張りたいです。



## 後輩へのアドバイス

### 「周りと自分を比べない」

就職活動の進度は、人それぞれ異なります。  
 周りの状況を気にしすぎないようにしましょう。

### 「自分に自信をもつ」

自分という商品を企業にPRするのが就職活動です。  
 自己分析をして自分の長所や短所を認めることができれば、  
 自信をもって選考に臨めるはずです。

### 「内定を得ることだけをゴールにしない」

就職活動は、自分自身と向き合う貴重な機会です。  
 入社後どのように働き、  
 何を成し遂げたいのかを意識してみましょう。

### 「ひとりで抱え込まない」

友人と外出するなど気分転換を図ることも大切です。  
 皆さんの就職活動を心から応援しています!

# 利用者のための 図書館を目指して

2014年4月、星が丘キャンパスの中央図書館がリニューアルして以来、日進キャンパスの図書館を含め、さまざまな進化を遂げてきた本学の図書館。この度、図書館長としての任期を終える福永智子教授に4年間の総括を行っていただきました。



## 学生満足度1位の図書館

最新の「学生総合満足度調査\*」において、図書館は学生満足度1位を獲得しました。前館長が務める2014年に中央図書館にラーニングcommonsが整備されて以来、サービス面の充実に努めてまいりましたが、学生のみなさんに評価いただき、大変うれしく受け止めています。

\*本学学生を対象に行うアンケート調査。3年生を除く全学生を対象に学生生活(教育研究・施設設備・就職支援など全般)を振り返り行ったアンケートで、項目「図書館が充実している」が1位を獲得。

## 基本サービスの改善

図書館長に就任し、まずはじめに、図書館界で「普通のサービス」とされているものは、本学にも導入する方針としました。ウェブ予約を開始し、他館への資料複写・貸借依頼の受付を年中無休とし、また、開館時間の延長も実施しました。さらに、閉館後も図書の返却ができるよう、時間外返却ポストを設置しました。そして、私が最も尽力したことは、椋山女学園大学図書館資料収集規準の制定です。利用者のための図書館づくりに向け、図書館運営委員会を中心にコレクション構築を行う基盤ができました。

## 資料をより探しやすく、使いやすく

本学図書館では、特殊資料が閉架書庫に配置されており、例えばCDはクラシック音楽を中心に1,700点あまり所蔵していますが、存在がわかりにくく、利用が活発ではありません。そこで、昨年秋から館内でCDを聴くことができるようにした他、館内利用のみの紙芝居と同様に、2019年度中には貸出ができるよう準備を進めています。

さらに、利便性向上のため、これら特殊資料のリスト整備にも取り組んでいます。和・洋雑誌2,504タイトルのうち、講読中のリストを図書館Webサイトに掲載し、新聞・CD・マイクロ資料のリストも順次公開していきます。特に中央図書館では、新聞が地下2階から地上階に分散配架され多少不便ではありますが、明治期の『萬朝報』や『婦女新聞』をはじめ、国内外の貴重なものが多数ありますので、ぜひご活用ください。

その他、著作権法の改正により、国立国会図書館の館内利用限定であった資料を全国の図書館内で閲覧できる「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を2019年度から開始する予定です。



図書館長  
福永 智子 教授

## 図書館の理念と本質とは

最後に、図書館学者であるランガナタンが発表した「図書館学の五法則」(森耕一監訳、1981)を掲げ、終わりの言葉といたします。4年間どうもありがとうございました。

1 図書は利用するためのものである

2 いずれの読者にもすべて、  
その人の図書を

3 いずれの図書にもすべて、  
その読者を

4 図書館利用者の時間を節約せよ

5 図書館は成長する有機体である

図書館に関する  
情報はこちらから



# OG INTERVIEW

新日鐵住金(株)名古屋製鐵所勤務

吉川 加奈子 Yoshikawa Kanako

鉄を通じて世界中の人を支えるために。  
自社とパートナー企業を繋いでいます。

私が勤務する新日鐵住金(株)名古屋製鐵所の敷地面積は632万㎡。ナゴヤドーム約131個分の広大な敷地で、自社の社員約3000人と、パートナー企業の社員約9000人とが協力して、日々鉄づくりに取り組んでいます。この自社とパートナー企業のチームワークの促進役として、契約や企画、調整、管理などを行うのが、私の所属する「協力会社連携室」の仕事。例えば、当社が新しいプロジェクトを始める際に、協力してくれる会社を探し、細かな条件を調整して契約を結んだり、パートナー企業のニーズを把握し、より働きやすい環境づくりに取り組んだり。自社とパートナー企業の間立ち、双方の話をしっかり聞きながら、両社が納得できる落とし所を探っていきます。とはいえ、私は入社2年目。先輩方のサポート業務がほとんどですが、少し前から一つの部門を担当させてもらえるようになりました。交渉相手となるのは、年次も知識も私より遥かに上の方ばかりなので、上司や先輩にアドバイスをいただきながら、一つ一つの案件に丁寧に対応するよう心掛けています。問題が解決し、「ありがとう」と言ってもらえるのが一番うれしい瞬間。関わった相手の笑顔を見られるのが仕事の原動力です。

そもそも私がこの会社に入社したのは、幼い頃、家族旅行で訪れ、「すごい！」と感動した明石海峡大橋の建設に深く関わっていたことがきっかけでした。乗り物や建築物、家電など、さまざまなモノの原料として世界中の人の暮らしを支える「鉄」をつくる一員として働けることは、今も、そしてこれからも私の誇り。今後も経験を積んで知識を高め、自社・パートナー企業を問わず、関わったすべての方から信用され、「吉川ならきっとどうにかしてくれる」と、頼りにされるようになるのが目標です。

企業や自治体と課題に取り組んだゼミ。  
チームワークと統率力が備わりました。

大学では、現代マネジメント学科に在籍していました。高校時代に「もしドラ※」が流行ったのですが、私自身も野球部のマネージャーをしていたので親近感を覚え、経営学を学んでみようと思ったんです。学科では経営のほか法律や経済など幅広く学びましたが、私の一番のお気に入りには「マネジメント論」という、実際の企業活動から経営手法を学ぶ授業。さまざまな企業の取り組みを知る中で、百社百色の個性に触れるのが楽しくて。次第に自分も経営に参加してみたいと思うようになり、ゼミでは企業や自治体と連携して、いろいろなプロジェクトに挑戦しました。人気のパン屋さんとコラボして開発した商品を大学祭で販売したり、日進市と協力して、若い人にも市の財政状況を知ってもらえるような冊子を作ったり。書籍や資料を読んで知識を得るだけでなく、その知識を生かして実社会で何ができるのかを、他のメンバーと一緒に考え、実行する。そんな経験を通して、チームワークや行動力が備わったし、社会や企業を動かすのは“人の力”ということにも気付くことができました。また、私はゼミ長を務めていたので、リーダーシップも鍛えられました。私のゼミは、しっかりとした意見を持つメンバーが多く、まとめるのにも一苦労。でも、一人では成し遂げられない成果が得られるので、みんなが発言しやすい雰囲気をつくったり、役割分担を工夫するなどしました。そんな中で、私はたくさんの人の意見を聞きながら課題を解決することが好きなんだと確信。入社直後の研修でも、できるだけ多くの人と関わる仕事がしたいと希望し、協力会社連携室への配属が叶いました。

人と協働する楽しさを教えてくれた梶大への感謝を忘れず、今後も多くの人と出会いながら自分を成長させたいです。

※もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら  
(岩崎 夏海/著)



#### Profile

2017年3月、現代マネジメント学部現代マネジメント学科卒業。  
2017年4月、新日鐵住金(株)名古屋製鐵所入社。労働・購買部  
協力会社連携室所属。同社の硬式野球チーム「新日鐵住金 東海  
REX」のチアリーダーとしても活躍中。

## ▶▶▶ 平成30年度ベストティーチャー賞は、表現文化学科の長澤唯史教授！

平成30年度ベストティーチャー賞を、表現文化学科の長澤唯史教授が受賞しました。

この賞は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を図ることを目的に毎年選定されるもので、学生アンケートによる評価など、総合的に審査、選定された教員に対し、その功績を表彰するものです。

長澤教授は、「授業は教員と学生と一緒に作り上げるものです。この賞をいただいたのは梶山の素晴らしい学生がいたからこそ。学生の皆さんにお礼を言いたいです」と喜びを語りました。



## ▶▶▶ 寄付金による施設設備・教育充実事業

新入学生の保護者の皆さまにご協力をお願いしております「施設設備・教育充実寄付金」は、平成29年度に428万円のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この寄付金(累積額を含む)を利用して、施設設備および教育の充実を図るため、平成30年度に次の事業を実施したことをご報告いたします。

部門
人間関係学部
事業名
講義室(2号棟202教室)の整備
支出額
1,312千円

なお、上記以外の学部については、平成31年度以降での事業を予定しています。今後とも、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

学長 後藤 宗理

## ▶▶▶ 本学教員の新著紹介

### 『渥美半島の風』(第4号)

渥美半島から文化の薫風を吹かそうと、国際コミュニケーション学部小川雅魚教授が編集長を務める地域雑誌『渥美半島の風』。第4号の特集は「空をみあげ、風にのる」。世界中を飛び回る鳥人の話。豊橋の小さな中学校の連凧ギネス記録挑戦。田原伝統の喧嘩凧。秋の風物詩「鷹の渡り」。新進女流作家たちの掌篇小説とエッセイ。トヨタのCMソングもつくったオヤジバンド。不登校の子らを預かるフリースクールの奮闘記。巻頭を飾るのが小川編集長による、ルーブル美術館にその絵が展示された地元赤羽根の床屋さんの話。「今回は特に充実」とは和辻哲郎賞作家からの言葉です。



『渥美半島の風』(第4号)  
平成30年9月30日発行  
96ページ、1,000円(税込)

## 学園長 梶山正弘先生 ご逝去

本学園の梶山正弘学園長(84歳)が、平成31年1月1日に逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。



## ▶▶ 梶大祭のステージで注目の京夏さん

### シンガーソングライターとして活躍

シンガーソングライターとして活動する教育学部2年の山上京夏さん。昨年の梶大祭では、魅力あふれるハツラツとしたステージを披露し、注目を集めました。

現在は、毎月第4土曜日に、金山総合駅南口広場で開催される「金山にざわいマルシェ」のステージライブ企画『歌どきテラス』に出演し、歌や演奏を披露する他、司会も務めています。

また、その模様を紹介するラジオ番組「金山わくわくテラス」(@FM80.7)にパーソナリティーとして出演するなど、精力的に活躍。昨年10、11月には、チャレンジアップステージと題して、アスナル金山にて8回のフリーライブを行い、オリジナルCD150枚完売の目標を達成しました。さらに、12月24日には、初のワンマンライブを開催するなど、今後ますますの活躍が期待されています。

### 歌で人を幸せにしたい

幼い頃から歌うことが大好き。アイリッシュハーブやクラシックピアノを学びながら、10歳になると独学で作曲を開始。高校入学と同時に、声楽とボイストレーニングを始め、現在も歌声に磨きをかけています。「将来は、歌で生きていきたい。普段の何気ない生活のちょっとしたスパイスになるような曲を届け、聴いている人が幸せを感じられる音楽を作り続けたい」と語る京夏さん。今後の活躍に注目です！



Twitter

@kyoka\_singing



Instagram

kyo\_mo.utau

【シングル】

1. darling 2. マイフレンド

ユニバーサルミュージックより配信中

## ▶▶ 平成31年4月、梶山女学園大学附属梶山こども園が開園

〈施設概要〉

平成31年4月、保育園と幼稚園の良さを併せ持った幼保連携型認定こども園「梶山女学園大学附属梶山こども園」が、星が丘キャンパスに開園します。

梶山こども園では、義務教育およびその後の教育の基礎を培うものとして、子どもに対する保育を一体的に行い、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行います。また、地域の子育て家庭を対象に、子育て相談や親子の交流の場を提供するなど、地域との深い関わりを大切にしていることも特徴です。大学との連携を通じた質の高い幼児教育、保育の実施、食育の推進や附属小学校への円滑な接続など、他園にはない環境が整っています。

施設の種類	幼保連携型認定こども園
施設の名称	梶山女学園大学附属梶山こども園
施設の所在地	名古屋市名東区にじが丘1丁目12番地の4 (梶山女学園大学 星が丘キャンパス隣接)
保育時間	7時30分～18時30分 月～土:延長保育 18時30分～19時30分
保育年齢	0歳児(※産休明け)～5歳児 ※開園初年度は、産休明け児の受け入れはありません。
利用定員	0歳児:9名      1歳児:15名 2歳児:18名    3歳児:24名 4歳児:27名    5歳児:27名



## Event

3	March
	(2月～) 春期インターンシップ実施(3/20まで)
	5日(火) オープンカレッジ前期講座受付開始
	15日(金) 卒業証書学位記授与式
	16日(土) 春季休業(31日まで)
	26日(火) 在学生ガイダンス・健康診断(新4年生)
27日(水) 在学生ガイダンス・健康診断(新3年生)	
28日(木) 在学生ガイダンス・健康診断(新2年生)	
4	April
	1日(月) 新入生オリエンテーション(国コミ、看護のみ)
	2日(火) 新入生オリエンテーション(4日まで)
	3日(水) 入学式
	5日(金) 前期授業開始

5	May
	6日(月・休) 通常授業日
6	June
	1日(土) 学園創立記念日
	15日(土) 秘書技能検定(学内実施)
29日(土) マナー・プロトコール検定(学内実施)	
7	July
	9日(火) オープンカレッジ後期講座受付開始
	13日(土) TOEIC® Listening&Reading IPテスト (学内実施)
	15日(月・祝) 通常授業日
26日(金) 前期試験開始	

## 古本募金ご協力をお願い

平成26年10月から開始された椋山女学園大学古本募金は、本学の卒業生、在学生、教職員などの大学関係者から提供された書籍等の古本としての買取金額が本学への寄付となり、全額を本学学生の奨学資金に役立てる学生支援プロジェクトです。

皆さまのご協力により、平成26年10月1日から平成31年1月10日までに、892,842円(今年度は120,574円)が集まりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。集まった寄付金は、本学学生の奨学資金として活用させていただきます。

今後ともご協力をお願い申し上げます。



## 編集後記

開学70周年という節目の年に、本大学報も記念の50号となりました。これを機に誌面のリニューアルを図りましたが、みなさんは前号までとの違いにいくつ気付かれたでしょうか。

1ページ当たりの文字数を減らし、そのぶん文字のフォントを大きくするとともに、字間、行間にもゆとりをもたせることで、どなたにもより読みやすいものとなるように心掛けたのは、その一例です。椋山女学園大学の多彩な「いま」を多くの方々を知っていただけますと幸いです。

奇しくも今年5月1日に改元がなされるという点では、この国にとっても一つの節目となります。本号の表紙には歴代の「風」全49冊の表紙が順に並べられておりますが、それらを眺めていますと、平成という時代の移り行き的一端を垣間見ることができると、興味深いものがありました。(T.M)

椋山女学園大学報「風」第50号

発行日 2019(平成31)年3月1日  
発行 椋山女学園大学 大学報「風」編集委員会  
編集 椋山女学園企画広報部広報課

編集委員 三浦 隆宏/富田 和子/小川 雅魚/阿部 純一郎/三木 邦弘/石橋 尚子/高植 幸子/福永 智子/原田 明人  
編集協力 新聞報道部  
題 字 鄭 麗芸(文化情報学部教授)

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号  
TEL 052-781-5940 E-mail kouhou@sugiyama-u.ac.jp  
次号の発行は、2019(平成31)年8月の予定です。

椋山女学園大学  
Webサイトは  
こちらから

